



立教大学広告研究会OB会報

http://www.rikkyo-ad-ob.jp

Vol.34

発行所 立教大学広告研究会OB会
〒104-0061 東京都中央区銀座8-14-5
TEL (03) 3541-5405
発行人 佐藤弘美
編集人 黒岩俊隆
平成23年(2011年)10月発行
第34号(毎年2回発行)

現役だより

■ 研究局

OB会の皆さまには、日頃より温かいご支援ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。研究局では前期の活動といたしまして、日頃の広告研究・制作活動とともに、本年度もOB会のご協力のもと広告講座を開催いたしました。第一回はデジタルガレージより禧久様、第二回は博報堂より鈴木様に「会員参加型の講座」を特色としてご講演いただきました。現役会員からも「広告をより身近に感じた」「広告の楽しさを感じた」などの感想を聞いております。後期も引き続き広告制作、また公募への参加などとともに、広告講座も開催することができればと思っております。本年度も残りわずかとなりましたが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。
(平成23年度研究局長・大須賀裕美)

■ 第58回立教学生 キャンプストア

OBの皆様、今年も多くのお客様に館山のお店へいらしていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。お陰様で今年のキャンプストアも、大きな怪我や事故もなく終わり、去る9月2日、無事閉店式を迎えることができました。58年目のキャンプストアを滞りなく終えることができました。

選直後からご指導賜り、多くの面でお世話になったOBの皆様のお力、そして現役一同の協力があってこそのものであったと実感している次第です。

間もなく広告研究会、そして立教学生キャンプストアは60周年を迎えます。本年度もあとわずかばかりとなってまいりましたが、自分のできることを模索し、次の世代へと引き継いでいきたいと思っております。本当にありがとうございます。

〈第58回立教学生キャンプストア 店長・川嶋 悌悟〉

■ 第27回ミス・ミスター 立教コンテスト

OBの皆様には、例年多大なるご支援 ご協力を賜っており、誠にありがとうございます。

さて、今年度の第27回ミス・ミスター立教コンテストは、立教大学の学園祭であるSPFの3日目にあたる、11月5日(土)の11時45分開始を予定しております。

前期から準備を進めてきたミス・ミスター立教コンテストも、いよいよ開催が現実的なものとして近づいて参りました。本年度最後の大きな活動として、最大限のことが出来るよう尽力いたします。今後とも、OBの皆様のご指導よろしくお願いたします。皆様のご来場をお待ちしております。
(第27回ミス・ミスター立教コンテスト・畔柳 飛鳥)

23年マスターズ報告

(文責51卒 松川哲夫)

相性はよかったですよ。久能CCとは。最初のラウンドが05年9月04日、82はデキすぎって感じですが、88、89、そして昨年のマスターズは86。で、ナメたわけではありませんが、今年の大会は43パットの96…口説き方をわかったつもりでただけに、落ち込みましたね。まあそれだけ魅力的で戦略的なコースだということでしょうか。

今年度の大会の成績は以下の通りです。尚、幹事裁定のミスでB.G. 佐藤紘一先輩には大変申し訳ない判定をいたしましたことを深くお詫びいたします。

- 優勝 (44卒) 元田 進氏 (G.97 N.73)
- 2位 (41卒) 佐藤紘一氏 (G.78 N.70.8) B.G.
- 3位 (44卒) 茂木康三郎氏 (G.86 N.74)

水偶坊入情曾根崎心中付け観音廻り

— 神奈川芸術劇場 8月14日~16日



曾根崎心中が、元禄16年(1703)4月の実際に起きた心中事件をもとに、近松門左衛門によって書きおろされたものだと知っている人は多い。しかし、そのあまりの影響力のために心中が大流行し江戸幕府が上演禁

止にしたこと、以来昭和30年に復活されるまでの間30年以上上演されていかなかったことを知る人は少ない。事件前年の元禄15年には赤穂浪士の吉良邸討ち入りがあり、翌16年2月には浪士の切腹が実行された。まさに「死」が日常にあり、信仰もまた精神の拠り所であった時代の物語である。浪士たちが死によって永遠の名を得たように、心中したお初と徳兵衛の、自ら死を選ぶことによっ

て二人の魂が浄土へ導かれるという解釈が、当時の封建社会に縛られていた若い男女に、爆発的な共感を呼んだのである。8月に神奈川芸術劇場で上演された「曾根崎心中」は、近松の初版本を完全に復活したものであり、45年卒広研OBでもあり、現代美術家・杉本博司が構成、演出を手がけた革新的な舞台であった。杉本は「今、もし近松が生きていたら、現代の技術を使えばこんな舞台に仕上がったはず」と語る。現行文楽の簡潔かつ演劇性を意識して構成されたものはひと味違う公演であった。死の気配が濃厚に漂う舞台は、元禄以来300年にわたる人々の命の連鎖を意識させるようでもある。

訃報

昭和40年卒・橋本 孝氏が9月7日ご逝去されました。橋本氏は95年の第1回サマーフェスティバルより広研OBとして、またハワイアンバンド・ドリームアイランダーズのメンバーとして、12年間に亘り十字屋ホールを盛り上げてくださいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

平成8年卒 中野 雅士氏 10月7日死去
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

第3回オータムフェスティバルのご案内

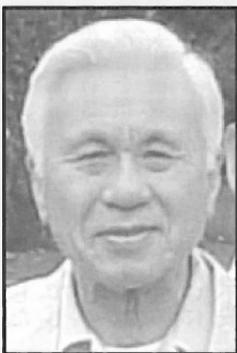
日時 平成23年11月25日(金)
6時受付開始 6時30分開宴
会場 立教大学第一学食 1階
会費 5,000円(懇親会費を含みます)



OB相互、OBと現役生の融和と交流の場としてスタートしたオータムフェスティバル。なつかしのキャンパス、第一学食で過去と未来が行き交います。現役生の一年間の活動(制作展示、キャンスト、ミスコンのスライド)やOB会趣味の会「文楽観賞会」「陶芸の会」の活動が貴方のハートやアタマを刺激してくれるでしょう。

昨年に引き続き、オータムフェスティバルでの一次会、年次会としての二次会に応援のプランを用意しています。是非多くの年次会、OB会員の方々の出席をお待ちしています。

〈オータムフェスティバル担当幹事 45年卒 藪谷和代〉



訃報

去る4月3日、当会名誉会長戸田 茂氏が享年75歳でご逝去されました。12年以上に亘りOB会長として広研の発展に寄与された戸田先輩のご冥福を衷心より深くお祈り申し上げます。

(2、3面に追悼特集記事)

広研60周年パーティー決定!

2年後秋・平成25年開催

2年後には広研もいよいよ創設60周年を迎えます。還暦にふさわしい、賑やかな楽しいパーティーを開催いたします。実行委員長にS44年卒、茂木康三郎氏を選出されました。ご期待ください。



茂木康三郎氏

〈実行委員会からのおねがい〉
60周年は、OBのみならずの参加型パーティーを目指しています。以下の項目についてみなさまのご意見、エピソードをお寄せください。
●パーティーイベントの企画について(ご意見、アイデア)

平成23年度OB総会が開催される

開催される

平成23年度広告研究会OB会総会が4月23日6時半より立教大学第一学食で38名のOBを迎え開催されました。最初に4月3日にご逝去されました戸田茂名誉会長(33年卒)のご冥福を祈り黙祷を捧げました。佐藤会長の挨拶に始まり、平成22年度の事業、決算、会計、監査の各報告が滞りなく行われ、その後23年度の事業計画案、予算案が説明・承認されました。

最後に60周年記念事業案が提出され各人事が決定、選任されました。

総会終了後、現役役員19名を交えて懇親会が開催されましたが、今年は大震災の影響で新学期がGW明けとなり、新入生勧誘もまだ行えず現役は3年生の役員のみとなりました。【議事(決算、予算等)につきましましては「ホームページ」をご覧ください】
(46卒 生稲栄次)

年会費3,000円の納入は銀行(下記口座)、同封の郵便局振替用紙・自動引落としをご利用ください
振込み先:みずほ銀行 銀座中央支店 店番号125 普通預金口座番号1869599 立教大学広告研究会OB会

